

安 全 情 報

～プノンペンにスパイダーマンが出現（弥次喜多編）～

「自分の身は、自分で守る。」をモットーにカンボジアライフを楽しく、良い思い出をつくるため、安全情報を提供させていただきます。

今回は、プノンペン市内で発生した邦人被害の「高所侵入窃盗事件」を事例紹介し、注意喚起させていただきます。

カンボジアへの旅行を計画している弥次さん、カンボジア通の喜多さんから色々とカンボジアにおける注意事項を聞いています。

弥次さん：今度の連休に、カンボジアへ行ってみようと思うが、喜多さんはもう何度もカンボジアに行っているようだが、何か注意することはあるかね？

喜多さん：うーん、そうだな、最近聞いた話によると、首都プノンペンでは深夜スパイダーマンが出没し高級マンションやホテルの2階以上の部屋から泥棒に入る侵入窃盗事件が発生しているんだってよ。

弥次さん：へえ、高級マンションね。最近のカンボジアは発展したものだね。
ところで何だい、その「侵入窃盗」というのは？

喜多さん：家屋や事務所、店舗などの建物内に入り込んで盗みを働く泥棒のことだよ。

弥次さん：じゃあ、何だい、正義の味方スパイダーマンが、深夜、人の家に忍び込んで泥棒をするというのかい。

喜多さん：いいや、そうではないよ。ただの、ものの例えだよ。

弥次さん：じゃあ、どういうことなんだい。

喜多さん：スパイダーマンのように壁をよじ登り、開放された窓や扉から屋内に忍び込むということだよ。

弥次さん：じゃあ、何かい。うちは、マンションの5階にあるから大丈夫と思って窓を開けておくと、そこから泥棒が忍び込むということかい。

喜多さん：ってことだよ。

昨年、日本人の旅行者や長期滞在者の方が、深夜被害にあっているんだってよ。

なんでも、目撃した被害者の話によると壁に出ている幅5センチ位の煉瓦の突起部分を伝わり、4階までよじ登ってきたらしいとのことだよ。それも、賊を発見したとき、スパイダーマンのように壁にピッタリと粘り付いていたというから、さぞ驚いたろうね。

弥次さん：へえ、それは驚きだ。いずれにしろ、部屋が2階以上にあるから大丈夫と思って、窓や扉を開けておくと泥棒はそこを狙って忍び込んでくるということだね。

喜多さん：そうなんだ。だから、2階以上だから大丈夫などと安心せず、窓や扉は鍵をちゃんと掛けておくことだ。

それから、窓に格子があるから大丈夫などと窓を開けておくと、その格子の隙間から竿のようなものを使用して、窓の近くにおいたカバンや衣類を引っ掛けて盗むという魚釣りのようなフィッシングという手口の泥棒も発生しているので気をつけることだね。

また、ホテルでもチェック・インした後、部屋の窓の鍵が掛かっていることを必ず確認すること、部屋の窓の鍵が掛かっていなかったがために、そこから賊に忍び込まれた事件も発生しているっていうから、もし鍵が壊れていて掛からないようなことがあったらちゃんと鍵が掛かるようにしてもらるか、部屋を変えてもらう等の申し入れをちゃんと

するべし。いずれにしろ、用心することだ。

弥次さん：流石、喜多さん。今日は大変勉強になったよ、ありがとうよ。

カンボジアが、安全になったとはいえ犯罪の発生は皆無ではありません。海外では特に注意し、○危険な場所には近づかない。○多額の現金、貴重品は持ち歩かない。○犯罪にあっても抵抗しない。○見知らぬ人を安易に信用しない。○買い物は信用のおける店を選ぶ。○ホテルの中でも安心しない。など防犯に心掛けて下さい。（了）